

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | ボランティア活動 | 社会公益活動 | 社会公益（ボランティア・社会奉仕）活動の基本

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

社会公益活動 社会公益（ボランティア・社会奉仕）活動の基本

労働組合は「存在自体」、労働運動そのものが社会性を持ったものであり、豊かな社会を建設するために活動しています。

社会貢献活動（ボランティア・社会奉仕）は、社会の「すべての人々が豊かな潤いのある生活ができる市民社会や環境を創りだそうとする活動」です。

労働運動は社会を映す鏡「原点は人間愛（ヒューマニズム）」



労働組合は
社会改革力を持った稀有な組織体

労働運動の変遷

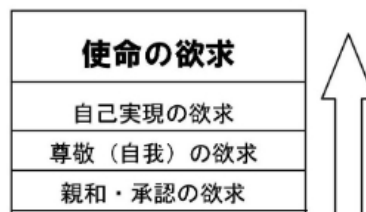
- | | |
|------------------|---------------------|
| ○ 戦前の労働運動の中心的な柱。 | 「人権獲得」の運動 |
| ○ 戦後の労働運動の中心的な柱。 | 「衣食住の獲得・充実」の運動 |
| ○ 経済成長期の労働運動の柱。 | 「欧米並み実現」の運動。 |
| ○ 安定成長期の労働運動の柱。 | 「ゆとり・豊かさ」実現の運動。 |
| ○ 現在・将来の労働運動。 | 「絆・つながり・安心安定」実現の運動。 |

社会改革に向けての活動

- ① 自由で平等な社会の実現。
- ② 多様な価値観を容認する社会の実現。
- ③ 安心で安定した社会環境の実現。
- ④ 平和で創造的・生産的な社会の実現。
- ⑤ 民主的な決定システム、民主主義が機能している社会の実現。

日本には、社会貢献活動の中心に「社会奉仕活動」があります。労働運動をはじめ経済の国際化に伴い、企業ではフィランソロピー活動が、またNPO団体などによる「ボランティア活動」が活発になり、労働組合の活動も従来の「社会奉仕活動」がボランティア活動へ名称変更されるようになりました。しかし、両者の意味合いには若干相違があり、労働組合としては、この二つを包含したかたちで「社会貢献活動」と呼称した方が良いと判断しています。

組合員個々人の「幸せ追求」の階段



教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

安全安定の欲求

生理的欲求

(マズローの欲求5段階による)

“ボランティア”は、英語でVolunteerと書きます。ラテン語で「自由意志」を意味するvoluntasに人称を示す -er をつけてできた言葉です。「志願する」「進んで提供する」「自発的に無償で社会問題の解決に取り組む市民」といった意味で捉えられています。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[📄 サイトマップ](#) [📄 このサイトについて](#) [📄 個人情報保護の取組みについて](#)

[📄 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.